



クラブ&サークル活動



音創同好会

代表 柴田 五郎(環境政策学科3年)

音創同好会は、総勢約30人で活動している、本学で最も部員が多いクラブです。活動は、月に1回の定期演奏会を学内音創同好会部室で行っており、また、外部のライブ、大学祭などで演奏を披露しています。

「音楽」は私たちの生活の様々な場面で耳にします。音楽を聴くだけではなく、実際にギター、ベース、ドラム、ボーカルで演奏して一緒に音を合わせてみると、何とも言えない感動を覚えます。そして、私たちは経験者、初心者、音楽に興味がある人、目立ちたいという人などの様々な部員が、一緒に音を創り、楽しい大学生活を送っています。

今年は、市内ライブハウスにて環境大学音創同好会主催ライブの開催を計画していますので、「鳥取環境大学音創部」を耳にしたらぜひ足を運んでください。これからも応援の程、宜しくお願いします。



女子バレーボール部

部長 野津あかり(環境政策学科3年)

女子バレーボール部は、普段は週に3回ほど体育館で練習をしています。大会の前になると、休日でも夜遅くまで練習をすることがあります。部員が少なく大変なことも多いですが、人数が少ないながらもその倍以上はいるのではないかと、というくらい明るく、元気に、そして楽しく練習に取り組んでいます。このチームの明るさが、鳥取環境大学女子バレーボール部の良いところだと思っています!

練習の他にも、環謝祭では模擬店を出店したり、オープンキャンパスに参加をしたりと、バレーボール以外の活動も行っており、そういった活動を通して部員の仲がより深まります。時には辛いこともありますが、お互いに助け合い、協力してプレーの向上を目指し練習に励んでいます。もしどこかで私たちを見かけたら、応援よろしくをお願いします。

韓国青少年一行が本学を訪問しました

平成22年3月11日・12日

「日韓青少年共同ボランティア活動事業」の一環として、韓国の大学生や青少年団体指導者などの一行25名が来日。その行程の一つとして本学を訪問し環境に関連したボランティアをテーマに本学学生との交流を行いました。

一日目は、古澤学長による歓迎の挨拶の後、環境施設やBDFセンターなどの視察を実施しました。続いて環境マネジメント学科荒田鉄二准教授による「海ごみの発生抑制と回収について」の特別講義を受け、日韓学生がそれぞれ環境活動紹介を行

いました。また、熱心な意見交換も行われました。

二日目は、賀露海岸での清掃ボランティア活動や大学での意見交換会があり、訪問団と本学学生などあわせて約50名が参加しました。海岸清掃では、参加者は精力的に活動し、1時間ほどで約300kgのペットボトルや空き缶、プラスチック製品や漁具などのゴミを拾いました。中にはハングルで書かれたゴミもあり、韓国からの一行も驚いた様子でした。その後、本学にて「海ゴミ問題に日韓青少年で何ができるか」をテーマにグループワークをしました。日韓混合のグループに分かれ意見を出し合い、各自の意見に対してディスカッションして最終的にグループとしての結論を出して発表するもので、両国学生とも熱心な議論を行いました。

最後のグループ発表では「日韓でゴミ拾いの日を決めて活動しよう」「子どもや青少年に対し持続的な体験型環境教育を行おう」などが提案され、今後、日韓青少年共同で海ゴミ問題解決に向けた活動を行っていくことを誓いました。



▲ゴミ回収後の集合写真